

公益社団法人日本天文学会 代議員総会議事録

日 時：2014年3月20日（木） 11:30-12:20

場 所：国際基督教大学 本館 2F H213 号室

出席代議員：岡村、渡部、海部、田村、河合、小久保、半田、常田、望月、市川、梅村、吉田（道利）、井上、福井、杉山、牧島、土居、太田、山田、縣、櫻井、寺澤、芝井、藤沢、百瀬、長尾（以上 26 名）

欠席代議員：柴田、奥村、馬場、吉川、佐藤、観山、林、富阪、吉田（直紀）（以上 9 名）
また、宮田年会理事、本原庶務理事、熊谷・松尾会計理事、西野事務長、黒岩職員が出席した。櫻井会長と奥村・山田副会長は代議員を兼任している。

I. 確認事項など

I-1 議事に先立ち、出席者が 26 名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議 長：櫻井 隆

署名人：櫻井 隆

I-2 前回議事録確認

資料 2 に基づき、前回(2014年1月26日)の代議員総会議事録が報告・確認された。

II. 報告

II-1 理事会（2014年3月19日）報告（本原）

PASJ と OUP の覚書を一部承認、シリーズ現代の天文学の英語版の検討、会費自動引き落としキャンペーンに大きな反響があった、ウェブ更新作業を進めている、杉並科学館閉館を見直すように要望書を出す予定、などの事項が報告された。

II-2 開催中の年会および今後の年会準備進捗状況（宮田）

791 件の講演があり、キャンセルが 7 件、初日終了時点で 702 名が受付済み。大きな問題は起きていないことが報告された。

II-3 年会運営に関する報告（宮田）

前回代議員総会で、年会の申し込み時期が何で制限されているかという質問が出されたので、検討した結果、会場の最終決定のスケジュールの都合であることが明らかになった。現状のままでは、申し込み時期の前倒しは難しい。遅らせた場合には開催地に大きな負担をかけ、コストも上がり、参加者の出張手続きにも不便（航空券の早割が使えなくなる、海外からの参加者へのビザの発給の期限など）を強いることになる。これに対し、年会の運営を大きく変えることを検討してもいいのではないかと、基調講演を増やして天文学の動向を共有する場を増やせない

か、学会発表は会員の権利であることに注意をしないといけない、座長に権限を与えてセッションのコーディネートをさせてはどうか、発表できる総時間は限界に近づいているので、何らかの形で口頭発表に制限を与える必要があるかもしれない（たとえば年間に発表できる a 講演を一人あたり一件にする）、物理学会では申し込みは天文学会より早い、申込み後にアブストラクトを出す（あるいは出さなくても良い）というやり方をしている、物理学会では質疑応答はシビアである、特別セッションは良い役割をしているのでそれを拡充する方向で活用できないか、などの意見が出された。

また、年会の申し込みをウェブベースにする検討を進めている。さらに、直近ではプログラムを月報に掲載しない代わりにまとめた PDF を用意することを検討していることが報告された。

II-4 学術会議関連報告（杉山）

会員・連携会員の改選が近づいているので、分野、gender バランスに注意して推薦を行う予定。天文学・宇宙物理学中規模計画の展望の冊子が完成し、配布している。学術大型研究計画のマスタープランに 8 計画を推薦し、すべて採択された。重点大型計画には 3 計画が入った。

II-5 IAU 報告（岡村、海部）

IAU 分科会で天文学の教育と普及活動を積極的に後援することとなったので、希望があれば山岡均（九州大学）に連絡をしてほしい。

2015 年に International Year of Light が開催されることになり、IAU も積極的に参加する。とくに、sky darkness に力を入れる予定。

III. 議題

特になし。

[資料リスト]

資料 1 代議員総会出欠表

資料 2 前回(2014 年 1 月 26 日)代議員総会議事録

配布資料 日本天文学会年会講演申し込み時期変更に関するメモ

2014 年 3 月 20 日

議長・署名人：櫻井 隆

印